

緑の相談コーナーだより

NO. 333 2013. 3. 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木“レンギョウ”(連翹)

～春・まぶしいばかりの黄色い花を咲かせる樹～

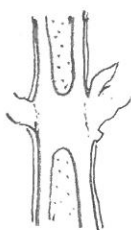


Forsythia suspensa VAHL
レンギョウ

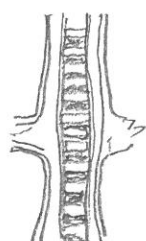
モクセイ科のレンギョウは、中国原産で日本には江戸時代に渡来しました。耐寒性があるので、現在では北海道から沖縄まで広く庭木として植栽されており、本道では、雪解けの後、葉が出る前に鮮やかな黄色の花を枝いっぱいに咲かせます。雌雄異株の半蔓性落葉小低木で、高さは2～3m、枝は蔓のように垂れて長く伸び、地につくと根をおろします。1～1.5cmの花柄をもつ花は、前年の枝の葉腋に1個ずつつき、枝ごとに鮮黄色の花をいっぱいにつけて咲く姿は、遠目にもまぶしいばかりに鮮やかに映ります。果実は楕円形で先が細長く尖り、熟すと先端から二つに裂けます。

レンギョウの仲間にはアルバニアに一種、東アジアに7種あり、日本には2種だけが自生しています。本州の中国地方の石灰岩地にまれにみられるヤマトレングョウと小豆島の岩場に生えるショウドシマレンギョウがそれですが、ヤマトレングョウは花つきがまばらで花も小さく、ショウドシマレンギョウは花が黄緑色で、花期が遅い特徴があります。また、変種として、葉と花が同時に開き、樹皮が暗褐色のシナレンギョウと、花の色が一段と濃い黄色のチョウセンレンギョウがあり、最近は後者も多くみられるようになってきました。この仲間を見分けるポイントは枝の断面です。レンギョウの枝は節以外は中空で髄がないのが特徴です。シナレンギョウの枝には髄膜が段々に並び、チョウセンレンギョウと似ていますが、チョウセンレンギョウのような節はありません。

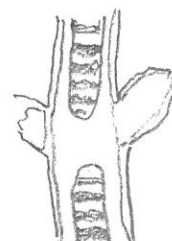
レンギョウ



シナレンギョウ



チョウセン
レンギョウ



レンギョウの名の由来ですが、誤って用いられた漢名の「連翹」に基づくもので、実際に中国で「連翹」と呼ばれるものは、オトギリソウ科の多年草であるトモエソウで、本種ではありません。本種の正しい漢名は「黄寿丹」で、新しい日本名はレンギョウウツギの別名でよばれます。

レンギョウの用途ですが、耐寒性があるので広く庭木などに用いられ、生け垣としても重用されます。また、切り花として観賞される外、薬用として用いられることもあります。秋、実がカサカサになったら採種し、日干しにして煎じて飲むと、皮膚病、消炎、利尿、解毒に効用があるとされます。

連翹のまぶしき春のうれひかな

久保田万太郎

連翹満開このあかるさはただならず

五味 酒蝶



バラ園

公園だより



お正月休み明け前後から中頃までの大雪と吹雪に、今年の岩見沢は昨年を上回る降雪に見舞われ、交通障害も発生して、除排雪に追われる日が続き、どうなることかと心配しましたね。しかし、1月の下旬からは、道内の他地域に豪雪が分散されたようで、岩見沢市は平年並といったところで3月を迎えることができました。しかし、バラ園のバラ達は、あつい雪の布団をかぶり、まだ休眠中ですが、この後融雪が進みますので、積雪の沈降圧での損傷がちょっぴり心配ですね！今月は北国の大地が春の目覚めを迎える季節です。南下していた渡り鳥も間もなく姿を見せてくれることでしょう。そして、バラ達が雪の下から顔をのぞかせるのももうすぐです。

♥**今月のバラ園からの一口メモ**は、春の剪定についてです。本州と違って北海道では、雪解けとともに一齐にバラの手入れが始まります。冬剪定のできない本道では、この時期に本剪定を行うことになります。春の剪定は枝ぶりの基本となり、1年の出発点でもあります。よい芽を選んで思いきって切りつめ、春には太い枝から、力強い芽を伸ばしましょう。時期の目安は、堅い^{うるこめ}鱗芽が赤くふくらみ始める直前に剪定して下さい。ハイブリット・ティー系は少し花数が少なくなっても一輪一輪が立派に開花するように深めに切り、中心をやや低めにし、全体を盃型に仕立てます。フロリバンダ系は、できるだけ多くの芽を残し、たくさんの花を咲かせるように剪定します。

色彩館では、緑の芝生の中にパンジイやビオラの花が咲いており、ツバキやジンチョウゲ、クリスマスローズなども咲いて、一足早い春を味わって頂けます。今月の中頃には、きっとハナミズキの花も楽しんで頂けると思います。

南国温室では、レモンやミカンが色づきストレリチア（極楽鳥花）やアナナスなどの花々が咲いています。ガジュマルやパピルスも茂ってここは別世界です。

相 談 日 記

問 家庭果樹にブドウを植えて楽しんでいます。3年経って果実も実り始めたのですが、果房が貧弱で登熟状態も良くない割に、枝葉がやたらに伸びて茂っております。近所の人に、ブドウは下手に剪定すると枯れてしまうと聞いたので、剪定はせずに放任しております。しかし、このままではあまりに蔓ばかり伸びてしまい良い果実が収穫できないような気がします。ブドウの簡単な剪定や手入れの基本などについて知りたいのですが！

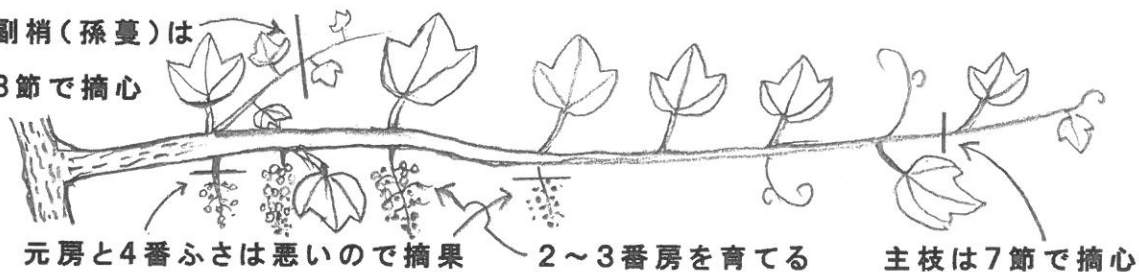
答 ふつう、庭木や果樹の植栽・剪定などの手入れは、早春から初夏にかけて行われるものが多いのですが、ブドウは管理の季節と方法がちょっと違ってきます。

まず、移植や植栽・整枝や剪定は、道央などでは初冬の11月に行うのがふつうです。春にこれらの作業を行うと、傷つけた枝蔓などから樹液がしみ出して止まらず枯れてしまうことがあるからです。したがって、春以降にやるのは6月からの芽かきや摘果と摘心です。これら、管理時期を間違わずに基本的な管理を行えば、大きな失敗をすることはありません。

管理方法のポイント 4年目以後は棚面が混雑しないように、11月になって葉が枯れてきたら整枝・剪定をします。広がりすぎた側枝を切りつめ、またこの時、古い枝を若い枝に替えたりします。翌春からは、芽のふくらみ具合を見ながら、芽の小さいうちに主枝（子蔓）として使う以外の余計な芽をかき取り（芽かき）、枝数が増えすぎないようにします。さらに、花芽が形成されて落花後15日頃に摘果作業を行います。これは、全ての花に実をつけると、果実の品質が悪くなり、樹が弱って翌年の花芽が少なくなったりするからです。摘果の目安は、デラウェアで1枝に2房、キャンベルなどで2枝で3房、巨峰で1枝1房くらいとし、大きい房は上下を切り詰めます。また、主枝（子蔓）が7節以上になったら先端を摘心します。さらに、副梢（孫蔓）が伸びてきたら3節で摘心します。これは、枝の成長に養分を取られ、果実の登熟を妨げるのを防ぐために行う作業です。このような基本的な管理をすれば果実の収穫状況はだいぶ改善されることと思います。

副梢（孫蔓）は

3節で摘心



元房と4番ふさは悪いので摘果

2～3番房を育てる

主枝は7節で摘心

大きく育てれば見ごたえ十分～スイフヨウ 花言葉 妖艶



スイフヨウは、アオイ科フヨウ属の落葉性低木です。北米・東アジア（中国・日本・朝鮮半島）原産で、葉の形や花の包葉やがくの形などは、母種であるフヨウと同じです。秋になると枝先の葉腋に、柄のある直径7～8 cmくらいの花が次々に開花し、1日でしぼみます。成長が早く、花の美しいものが多いので、鉢植や庭に植栽され、近年では欧米などで交配・作出された品種なども導入されています。フヨウの八重咲き品種なので、花が咲いていないとフヨウと区別しにくいので要注意です。暖地では庭植えとしますが、やや耐寒性が弱いので、寒冷地では鉢植えとし、冬には室内などに取り込みましょう。鉢植えは、大きめの鉢に植え、大きく育てると見事な姿を楽しめます。なお、日当たりが悪いと花つきが少なくなるので、気をつけましょう。日本名のスイフヨウは酔芙蓉の意で、開花してから花色が白からピンク、紅へと変わるので、酒の酔いに例えて名づけられたものです。

3～4月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣家庭果樹の楽しい管理

日時 3月 10日（日） 13:00～15:00

講師 中央農業試験場 内田 哲嗣 さん 定員 40人 参加料 無料



♣室内公園のバラ・花木類の観賞

日時 3月 17日（日） 13:00～15:00

講師 緑化相談員（樹木医） 泉 征三郎 定員 40人 参加料 無料

♣ハンギング作りの基本

日時 4月 14日（日） 13:00～15:00

講師 月形コテージガーデン 梅木あゆみ さん 定員 40人 材料代 1500円

♣楽しい家庭菜園作りⅠ

日時 4月 21日（日） 13:00～15:00

講師 園芸研究家 横山 弘 さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド（空知リゾートシティ株式会社）

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで